

令和 7 年度 秋さけの親魚確保及び適正利用を図るための実施方針（案）

令和 7 年 6 月 日
北海道連合海区漁業調整委員会

本道に来遊する秋さけについて、親魚確保対策及び密漁対策等を講じ、安定的な資源造成及び適正な利用を図り、もって漁業経営の安定に資するものとする。

第 1 秋さけ親魚確保対策の推進

1 基本方針

本道の秋さけ資源について、増殖事業の安定的な推進や来遊時期の平準化を目指すため、道が別途定めた「さけ・ます人工ふ化放流計画」に基づき、親魚の確保に努めるものとする。

2 親魚の確保

（1）各地区の関係者で構成される秋さけ種卵確保対策連絡会議（以下、「地区連絡会議」という。）は、道が定めた期別ごとの親魚確保計画の達成を図るため、必要な措置を決定するものとする。

（2）各海区漁業調整委員会（以下、「海区委員会」という。）は、総合振興局又は振興局から地区連絡会議で決定した措置の円滑な実施のために要請があった場合には、揚網等による自主規制などの必要な措置を講じるものとする。

この場合において、必要に応じ隣接海区委員会と協議を行うものとする。

3 操業期間の暫定措置

各海区委員会は、当該海区の期別ごとの親魚確保状況を常時把握し、親魚確保計画を達成する見通しを得た場合には、関係海区委員会と協議の上、操業終期に関する暫定措置について知事に要請するものとする。

4 漁獲管理体制

（1）漁業協同組合及びさけ定置漁業者は、再生産用親魚の捕獲、採卵事業の円滑な実施に資するため、漁獲管理通報体制を確立するものとする。

（2）漁獲管理通報体制は、道が別に定める要領によるものとする。

第 2 密漁対策の推進

北海道連合海区漁業調整委員会（以下、「連合海区委員会」という。）及び各海区委員会は、道及び取締関係機関に対し、密漁取締体制の強化と効果的な取締まりの推進について要請する。

第 3 その他

秋さけの親魚確保及び適正利用を図るための参考値として、連合海区委員会は、秋さけ資源の推定来遊量に基づく北海道の資料を参考に、サケの推定遡上数を各海区委員会に提示する。

提示する推定遡上数は、別表に掲げる 14 地区ごととする。

【別 表】

推定遡上数を提示する 1 4 地区及び地区の範囲

第 3 で定める 1 4 地区及び地区の範囲は、次のとおりとする。

系統群名（海域名）	地 区 名	地区の範囲
ア オホーツク系統群 （オホーツク海域）	（ア）西部地区	枝幸～宗谷岬
	（イ）中部地区	北見市常呂～雄武
	（ウ）東部地区	知床岬～網走
イ 根室系統群 （根室海域）	（ア）北部地区	知床岬～竜神岬
	（イ）南部地区	竜神岬～納沙布岬
ウ えりも以東系統群 （えりも以東海域）	（ア）東部地区	納沙布岬～茶路川
	（イ）西部地区	茶路川～えりも岬
エ えりも以西系統群 （えりも以西海域）	（ア）日高地区	えりも岬～日高町門別
	（イ）胆振地区	むかわ～地球岬
	（ウ）噴火湾地区	地球岬～森町字砂原
	（エ）道南地区	鹿部～白神岬
オ 日本海系統群 （日本海海域）	（ア）南部地区	白神岬～積丹岬
	（イ）中部地区	積丹岬～雄冬岬
	（ウ）北部地区	雄冬岬～宗谷岬

令和7年度 秋さけ推定遡上数

(単位:千尾)

系統群	地 区	令和7年度推定遡上数				親魚確保 計 画	備 考
		前期	中期	後期	合 計		
オホー ツク	西 部 (枝幸～宗谷岬)	112	72	6	191	84.8	
	中 部 (北見市常呂～雄武)	35	44	16	95	119.4	
	東 部 (知床岬～網走)	241	251	141	633	135.1	
	小 計	389	367	163	919	339.3	
根 室	北 部 (知床岬～竜神岬)	36	29	15	80	121.5	
	南 部 (竜神岬～納沙布岬)	18	16	10	44	97.9	
	小 計	54	45	25	124	219.4	
えりも 以東	東 部 (納沙布岬～茶路川)	13	8	3	23	60.7	
	西 部 (茶路川～えりも岬)	49	40	9	98	151.0	
	小 計	62	48	11	121	211.7	
えりも 以西	日 高 (えりも岬～日高町門別)	16	31	15	61	55.5	
	胆 振 (むかわ～地球岬)	16	20	3	38	33.7	
	噴火湾 (地球岬～森町字砂原)	4	17	6	27	24.1	
	道 南 (鹿部～白神岬)	1	5	2	8	33.0	
	小 計	37	71	26	134	146.3	
日 本 海	南 部 (白神岬～積丹岬)	6	8	0	14	64.6	
	中 部 (積丹岬～雄冬岬)	28	54	17	99	86.2	
	北 部 (雄冬岬～宗谷岬)	35	35	1	70	51.6	
	小 計	68	97	18	183	202.4	
合 計		610	628	243	1,481	1,119.1	

※ 前期:～10/10、中期:10/11～11/5、後期:11/6～

「秋さけの親魚確保及び適正利用を図るための実施方針」新旧対照表（案）

資料 1－2

改 正 案（令和 7 年度）	現 行（令和 6 年度）	改正理由等
令和 7 年度秋さけの親魚確保及び適正利用を図るための実施方針 令和 7 年 6 月 日 北海道連合海区漁業調整委員会 前文 （略） 第 1 （略） 第 2 （略） 第 3 その他 秋さけの親魚確保及び適正利用を図るための参考値として、連合海区委員会は、秋さけ資源の推定来遊量に基づく北海道の資料を参考に、サケの推定遡上数を各海区委員会に提示する。 提示する推定遡上数は、別表に掲げる 1 4 地区ごととする。	令和 6 年度秋さけの親魚確保及び適正利用を図るための実施方針 令和 6 年 6 月 2 1 日 北海道連合海区漁業調整委員会 前文 （略） 第 1 （略） 第 2 （略） 第 3 その他 海区内の自主的な措置の参考値として、連合海区委員会は、秋さけ資源の推定来遊量に基づく北海道の資料を参考に、漁獲見込量を各海区委員会に提示する。 提示する漁獲見込量は、別表に掲げる 1 4 地区ごとに前期（9 月 3 0 日まで）及び中後期（1 0 月 1 日以降）に区分した上限値及び通常値とする。 なお、漁獲見込量を用い、海区内の自主的な措置を講じた場合、当該海区委員会は、道に実施結果を報告するものとする。	・年度の改正 ・委員会承認の日付けを記入 ・本方針は親魚確保対策の推進が趣旨であることから、提示する内容を漁獲見込量から推定遡上数へ修正

「秋さけの親魚確保及び適正利用を図るための実施方針」新旧対照表（案）

改 正 案（令和7年度）							現 行（令和6年度）							改正理由等				
別表 推定遡上数を提示する14地区及び地区の範囲（略）							別表 漁獲見込量を提示する14地区及び地区の範囲（略）							・ 本方針は親魚確保対策の推進が趣旨であることから、提示する内容を漁獲見込量から推定遡上数へ修正				
令和7年度 秋さけ推定遡上数							令和6年度 秋さけ漁獲見込量											
(単位:千尾)							(単位:千尾)											
系統群	地 区	令和7年度推定遡上数				親魚確保計画	備 考	系統群	地 区	令和6年度漁獲見込量			親魚確保計画	備 考				
		前期	中期	後期	合計						前期 (～9/30)	中後期 (10/1～)			合計			
オホーツク	西 部 (枝幸～宗谷岬)	112	72	6	191	84.8		オホーツク	西 部 (枝幸～宗谷岬)	上限値 1,740	650	2,390	84.8					
	中 部 (北見市常呂～雄武)	35	44	16	95	119.4			通常値 1,254	454	1,708							
	東 部 (知床岬～網走)	241	251	141	633	135.1			中 部 (北見市常呂～雄武)	上限値 2,145	1,583	3,728	119.4					
	小 計	389	367	163	919	339.3			通常値 1,586	1,243	2,829	136.1						
									東 部 (知床岬～網走)	上限値 2,405	3,639			6,044				
根 室	北 部 (知床岬～竜神岬)	36	29	15	80	121.5		通常値 1,961	2,991	4,952	根 室	北 部 (知床岬～竜神岬)	上限値 604	1,498	2,102	121.5		
	南 部 (竜神岬～納沙布岬)	18	16	10	44	97.9		通常値 6,290	5,872	12,162		通常値 420	1,129	1,549	96.4			
	小 計	54	45	25	124	219.4		通常値 4,801	4,688	9,489		南 部 (竜神岬～納沙布岬)	上限値 235	338			573	
								東 部 (納沙布岬～茶路川)	13	8		3	23	60.7				通常値 839
	えりも 以東	西 部 (茶路川～えりも岬)	49	40	9	98	151.0		小 計	通常値 566		1,341	1,907	217.9				
小 計		62	48	11	121	211.7		東 部 (納沙布岬～茶路川)	上限値 384	282	666	えりも 以東	東 部 (納沙布岬～茶路川)	上限値 243	189	432	84.3	
								西 部 (茶路川～えりも岬)	490	324	814		通常値 317	205	522			
えりも 以西		日 高 (えりも岬～日高町門別)	16	31	15	61	55.5		小 計	上限値 874	606		1,480	236.2				
		胆 振 (むかわ～地球岬)	16	20	3	38	33.7		通常値 560	394	954		えりも 以西	日 高 (えりも岬～日高町門別)	上限値 75	181	256	56.9
	噴火湾 (地球岬～森町宇砂原)	4	17	6	27	24.1		通常値 560	394	954	通常値 52			127	179			
	道 南 (鹿部～白神岬)	1	5	2	8	33.0		通常値 560	394	954	胆 振 (むかわ～地球岬)	上限値 89		197	286	33.7		
	小 計	37	71	26	134	146.3		通常値 560	394	954	通常値 36	87		123				
日 高 (えりも岬～日高町門別)								16	31	15	61	55.5			通常値 560	394	954	噴火湾 (地球岬～森町宇砂原)
日本海	南 部 (白神岬～積丹岬)	6	8	0	14	64.6		小 計	通常値 560	394	954	40.2						
	中 部 (積丹岬～雄冬岬)	28	54	17	99	86.2		通常値 560	394	954	日本海	道 南 (鹿部～白神岬)	上限値 21	131	152	57.9		
	北 部 (雄冬岬～宗谷岬)	35	35	1	70	51.6		通常値 560	394	954		通常値 5	32	37				
	小 計	68	97	18	183	202.4		通常値 560	394	954		通常値 236	707	943	188.7			
								南 部 (白神岬～積丹岬)	159	279		438						
合 計	610	628	243	1,481	1,119.1		合 計	9,179	10,001	19,180		1,185.4						
※ 前期:～10/10、中期:10/11～11/5、後期:11/6～							※ 前期:～9/30、中期:10/1～10/15、後期:10/16～11/5											

令和 7 年（2025 年）の秋サケの資源状況について

令和 7 年 6 月 23 日

地方独立行政法人 北海道立総合研究機構
さけます・内水面水産試験場 さけます資源部

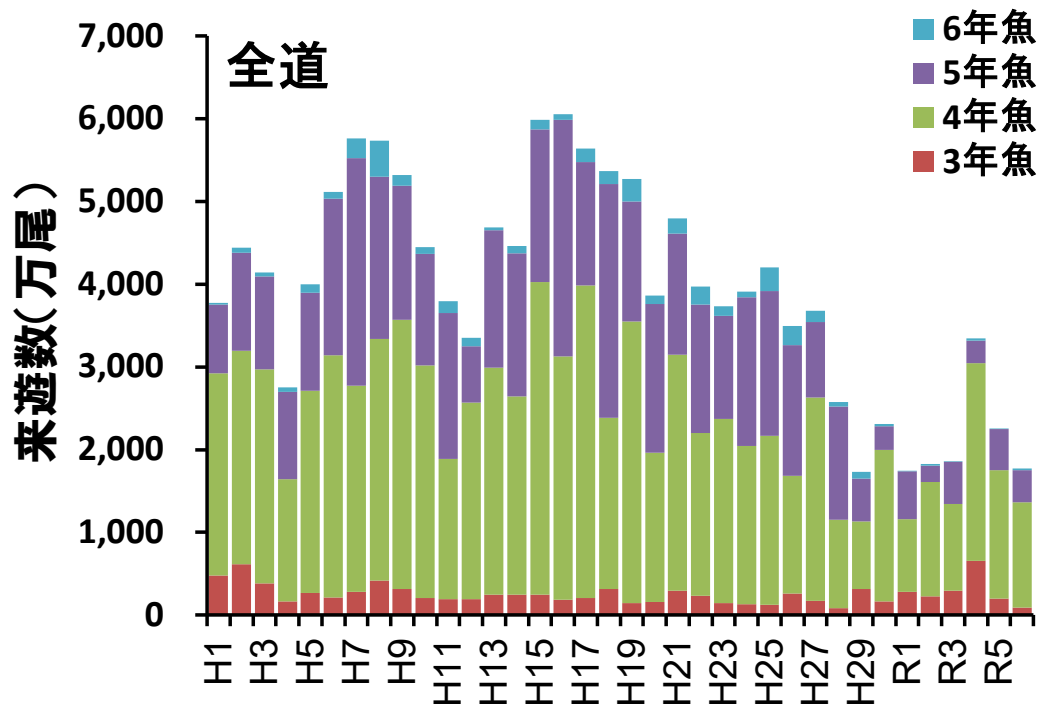


図 1 北海道への秋サケの来遊数（年齢別）の推移

令和 6 年の北海道への秋サケ来遊の特徴

○令和 6 年（2024 年）の全道への秋サケ来遊数（沿岸での漁獲数と河川での捕獲数の合計）は 1,770 万尾、前年比で 78% と大幅に減少し、令和元年とほぼ同じ水準となりました（図 1）。予測に対する実績の値は 104% で概ね予測並みとなりました。

○年齢別来遊数について、4 年魚（令和 2 年生）は 1,277 万尾で前年比 82% に減少し、5 年魚（令和元年生）は 388 万尾で平成以降では 4 番目に少ない値となりました。3 年魚（令和 3 年生）は 89 万尾と過去最低の水準にまで減少しました。

○時期別では、前期が 667 万尾（前年対比 73%）、中期が 939 万尾（前年対比 78%）、後期が 164 万尾（前年対比 121%）と、中期主体の来遊となりました。

○令和 6 年の平均目廻りは 2.96kg と前年の 3.02 kg から減少し、近年では最も小型であった令和 4 年（2.83kg）に次いで低い水準となっています。

各海区への来遊状況

○令和 6 年の各海区への来遊数は根室海区を除く全ての海区で前年を下回り、中でも日本海区での減少幅が大きくなりました（図 2）。

○年齢別にみると来遊の主群である 4 年魚は根室海区を除く全ての海区で前年を下回りました。5 年魚は根室・えりも以東海区以外の海区で前年を下回りました。3 年魚はえりも以西海区を除く全ての海区で前年を大幅に下回りました。

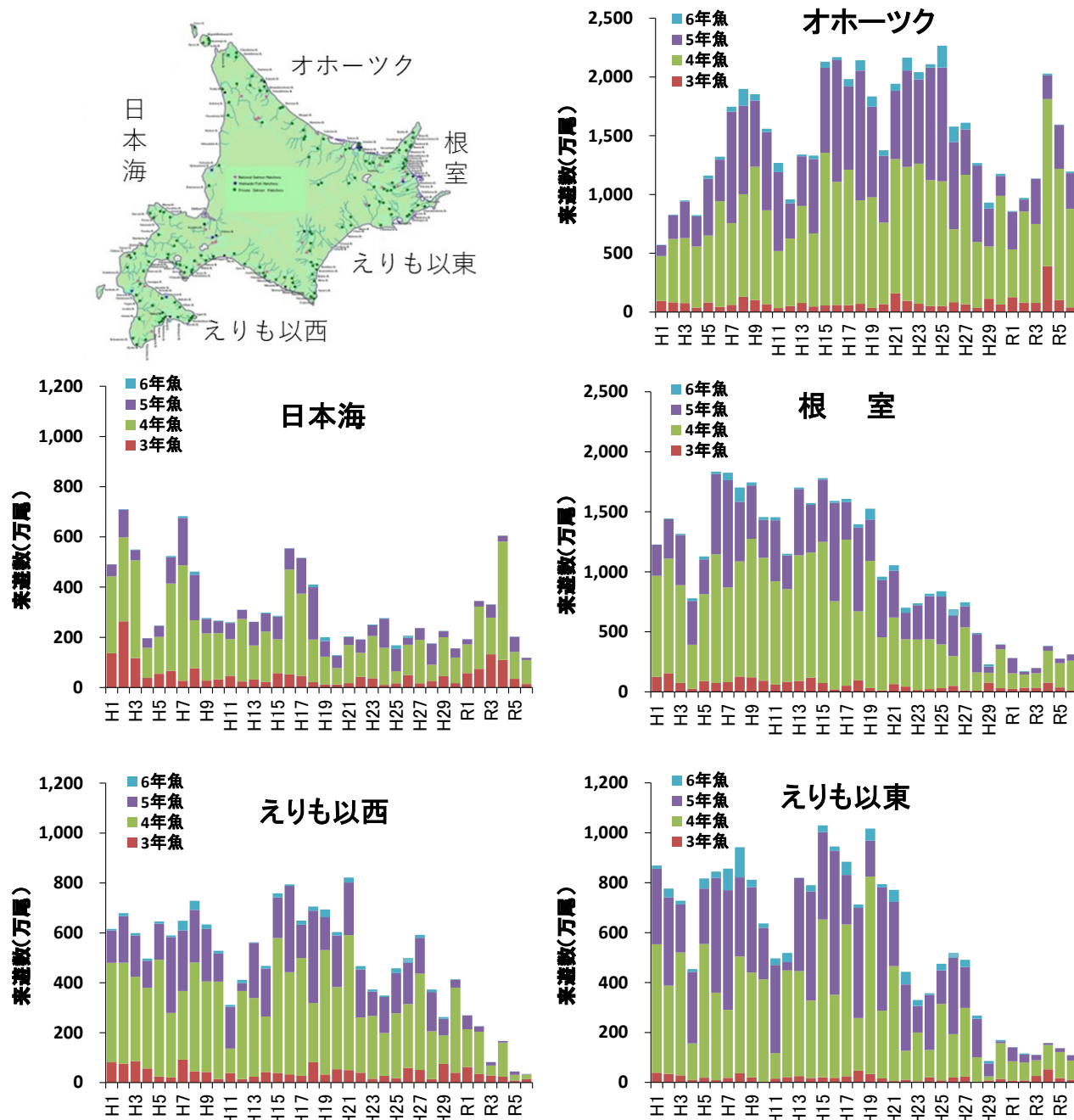


図 2 各海区への秋サケの来遊数（年齢別）の推移

今年(令和7年)の来遊予測

○これまでと同様にシブリング法を基本に来遊数を予測しました。この手法では、前年の3年魚の来遊数から今年の4年魚の来遊数を、前年の4年魚の来遊数から今年の5年魚の来遊数を推定します(図3)。

○近年、急速な成熟年齢の**若齢化**が進んだことにより、予測精度が低下していることが明らかになりました。このため、令和3年以降は**若齢年級**のデータ(図3の○)だけを使って分析を行い、予測値を算出しています。

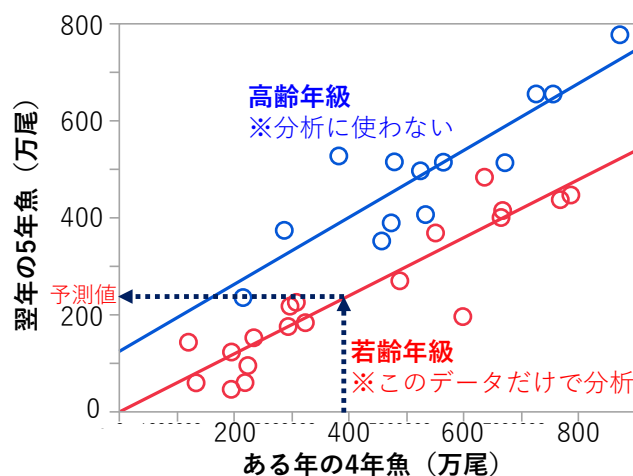


図3 シブリング法(例:A地区)

今年の予測値

令和7年(2025年)の全道への秋サケ来遊数は1,141万尾と予測しています。地区別の予測値は下表のとおりです。

海 区	地 区	令和7年 予測値(千尾)	令和6年 来遊数(千尾)	前年比(%)
オホーツク	東 部	4,469	8,045	55.5
	中 部	2,009	2,489	80.7
	西 部	1,288	1,412	91.2
	小 計	7,766	11,946	65.0
根 室	北 部	1,273	2,710	47.0
	南 部	231	416	55.4
	小 計	1,504	3,126	48.1
えりも以東	東 部	399	510	78.2
	西 部	461	581	79.4
	小 計	860	1,091	78.8
えりも以西	日 高	186	157	118.7
	胆 振	138	104	133.2
	噴火湾	82	60	137.3
	道 南	25	22	115.5
	小 計	432	343	126.2
日 本 海	北 部	401	458	87.6
	中 部	314	594	52.9
	南 部	134	139	96.7
	小 計	849	1,191	71.3
北 海 道 総 計		11,411	17,696	64.5

令和 7 年 北海道サケの推定遡上数（期別）

単位：千尾

海域 / 地区		推定遡上数				捕獲計画				計画に対する過不足			
		前期	中期	後期	計	前期	中期	後期	計	前期	中期	後期	計
オホーツク	東部	241.4	250.5	140.6	632.5	34.7	59.8	40.6	135.1	206.7	190.7	100.0	497.4
	中部	35.1	43.7	16.4	95.2	31.1	64.4	23.9	119.4	4.0	▲ 20.7	▲ 7.5	▲ 24.2
	西部	112.3	72.4	6.2	191.0	36.4	38.3	10.1	84.8	75.9	34.1	▲ 3.9	106.2
	小計	388.9	366.6	163.2	918.7	102.2	162.5	74.6	339.3	286.7	204.1	88.6	579.4
根室	北部	35.8	29.3	14.8	79.9	36.6	49.5	35.4	121.5	▲ 0.8	▲ 20.2	▲ 20.6	▲ 41.6
	南部	18.0	15.9	9.9	43.8	37.4	38.2	22.3	97.9	▲ 19.4	▲ 22.3	▲ 12.4	▲ 54.1
	小計	53.8	45.2	24.7	123.7	74.0	87.7	57.7	219.4	▲ 20.2	▲ 42.5	▲ 33.0	▲ 95.7
えりも以東	東部	12.8	7.8	2.5	23.0	23.1	28.6	9.0	60.7	▲ 10.3	▲ 20.8	▲ 6.5	▲ 37.7
	西部	49.0	39.9	9.2	98.0	62.7	72.7	15.6	151.0	▲ 13.7	▲ 32.8	▲ 6.4	▲ 53.0
	小計	61.7	47.6	11.6	121.0	85.8	101.3	24.6	211.7	▲ 24.1	▲ 53.7	▲ 13.0	▲ 90.7
えりも以西	日高	16.4	30.5	14.7	61.6	15.9	23.2	16.4	55.5	0.5	7.3	▲ 1.7	6.1
	胆振	16.1	19.5	2.9	38.5	11.4	12.6	9.7	33.7	4.7	6.9	▲ 6.8	4.8
	噴火湾	3.8	16.6	5.5	26.0	6.6	9.0	8.5	24.1	▲ 2.8	7.6	▲ 3.0	1.9
	道南	1.0	4.7	2.2	7.9	7.0	12.6	13.4	33.0	▲ 6.0	▲ 7.9	▲ 11.2	▲ 25.1
	小計	37.3	71.2	25.4	134.0	40.9	57.4	48.0	146.3	▲ 3.6	13.8	▲ 22.6	▲ 12.3
日本海	北部	34.6	34.5	1.0	70.2	31.6	20.0	0.0	51.6	3.0	14.5	1.0	18.6
	中部	27.6	54.4	17.3	99.3	53.4	29.4	3.4	86.2	▲ 25.8	25.0	13.9	13.1
	南部	6.0	8.3	0.0	14.3	40.3	24.3	0.0	64.6	▲ 34.3	▲ 16.0	0.0	▲ 50.3
	小計	68.2	97.2	18.4	183.8	125.3	73.7	3.4	202.4	▲ 57.1	23.5	15.0	▲ 18.6
北海道総計		609.9	627.9	243.4	1,481.2	428.2	482.6	208.3	1,119.1	181.7	145.3	35.1	362.1

秋サケ資源に関連する海洋環境の状況について

Time Series of Oyashio Area(10^4km^2)

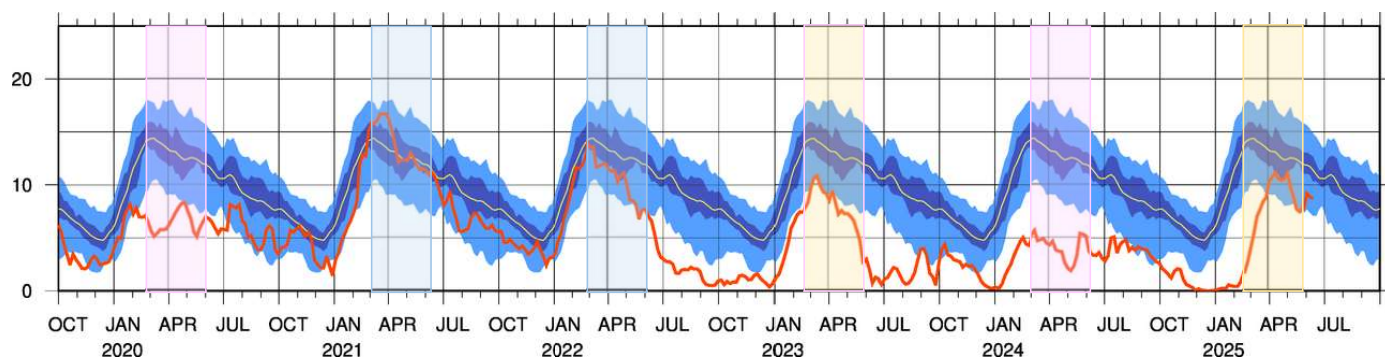


図1 親潮の面積の推移

- 近年、春季の海洋環境の変動が大きい。
- 親潮勢力の弱化が顕著な年がみられている(2020年、2024年)。
- 2025年は2024年よりは親潮勢力強い傾向。ただし、平均よりは弱い。

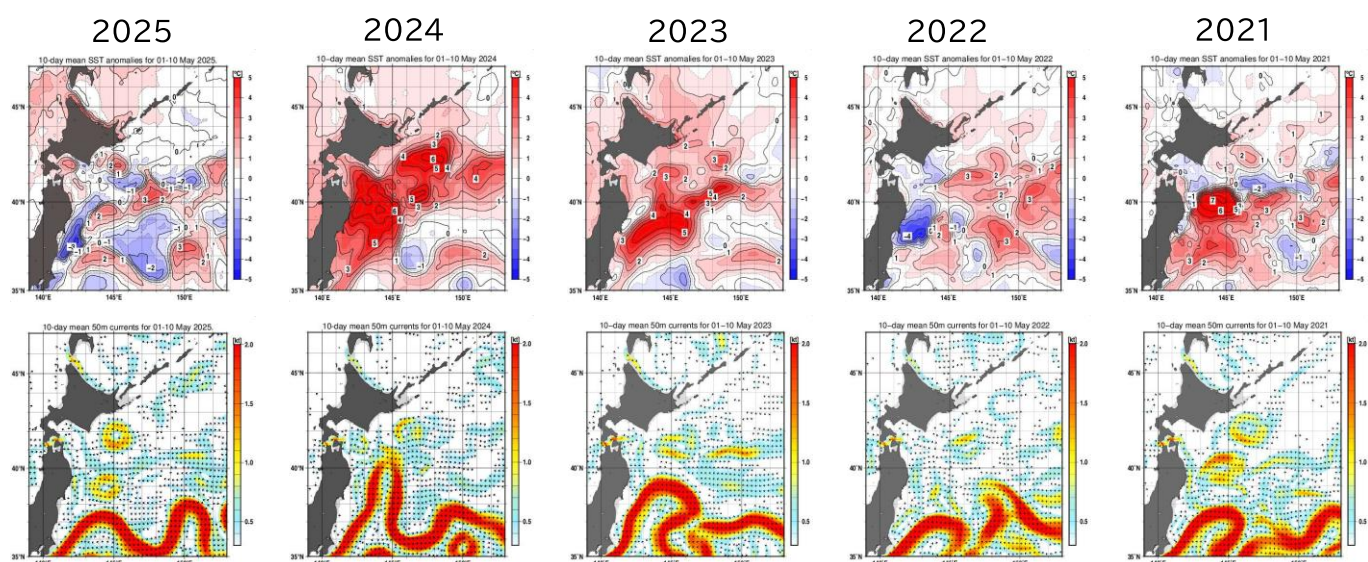
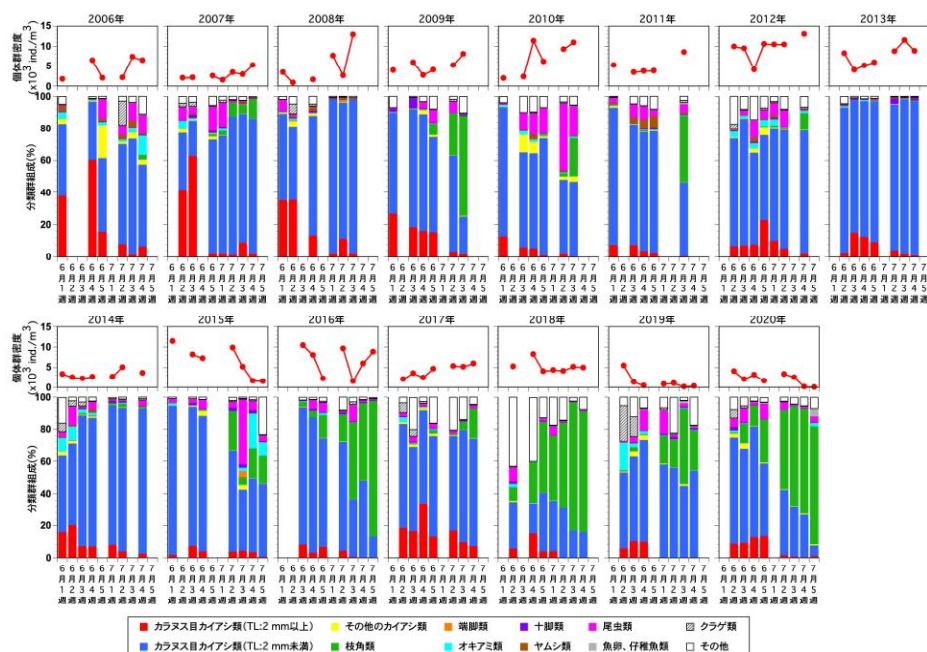


図2 海水温の偏差（上）および海流（下）（5月上旬）

- 2024年5月には黒潮続流が東北沿岸まで北偏。
- 親潮の弱化も影響し、太平洋沿岸での高水温が顕著
- 2025年5月には黒潮続流が房総沖で東行。親潮の弱化も緩和し、海水温も平均的。ただし、オホーツク海では平年より海水温が2～3℃高かった。



・2016年以降6月からサケの餌としては好適でない暖水性の動物プランクトン(枝角類等)の割合が増加する傾向

・また、量的にも少ない年もみられている(2019年、2020年)

・これらの動向には海流、海水温が大きく関与している。

図3. 昆布森沿岸域における2006～2020年の動物プランクトン個体群密度と分類群組成（4定点の平均値）

※令和3年度の「さけ・ますふ化放流抜本対策事業調査報告書」より引用

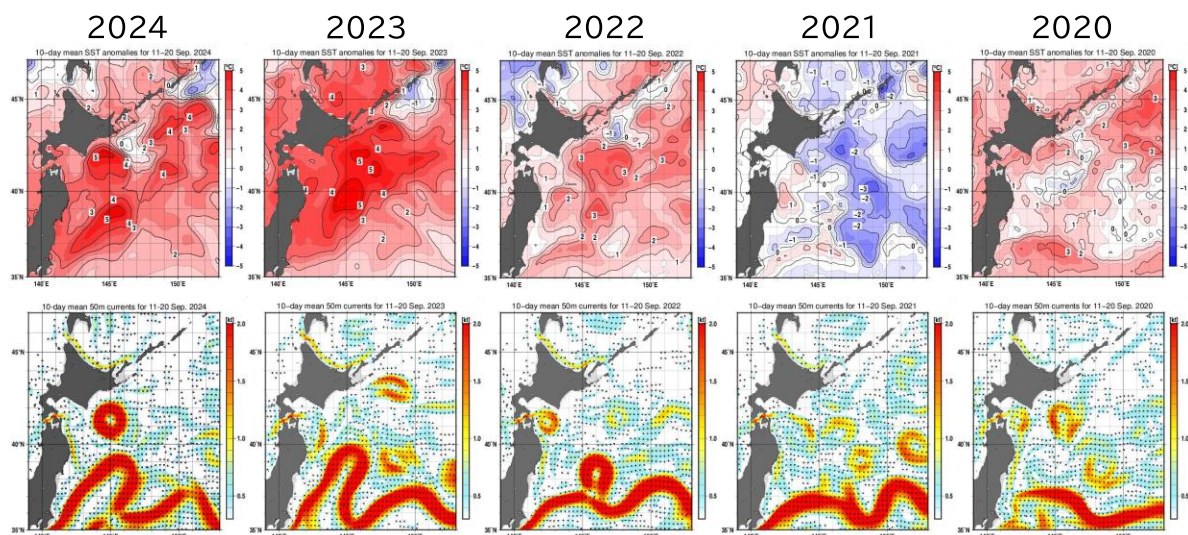


図4 海水温の偏差および海流（9月中旬）

- 近年は秋サケの来遊時期である9月の海水温が高い年の頻度が多い。
- 2023年、2004年には黒潮続流の北偏がみられたほか、2004年はえりも以東沖に暖水塊。
- 定置網で漁獲される魚種にも影響。
- サケでは漁獲時期等に影響(10月以降に漁獲が伸張など)



2023年 網走



2024年 南茅部

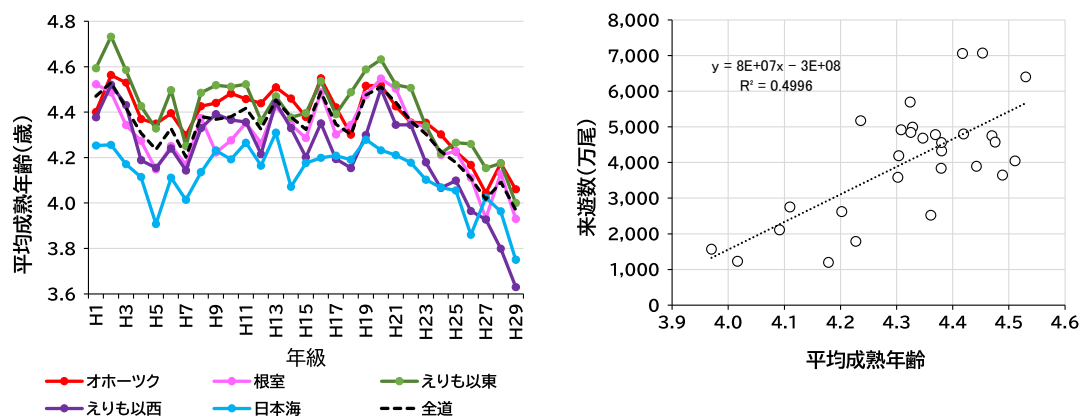


図5 平均成熟年齢と来遊数

- H21年級以降成熟年齢の低下(若齢化)がみられているH29年級で顕著。
- 平均成熟年齢と来遊数の関係を見ると、正の相関